

説明事項 「射水市放課後対策事業について」【事務局】

- (1)放課後児童クラブの概要
- (2)放課後子ども教室・土曜学習推進事業の概要
- (3)地域学校協働活動推進事業について

質問事項

特になし

放課後子どもプランに関する意見交換

【委員】

- ・ 支援員の確保が難しい。ここで働きたいと思う人が増えるよう、待遇や職場環境をどうすればいいか日々考えている。
- ・ 学校との連携について。学級が学校と離れた場所にある場合、こちらから電話するしかなく、小さいことで連絡するのははばかられ、あまり連携がとれていない。

【委員】

- ・ 学級が学校隣接のコミュニティセンター内にあり、学校との連携は十分とれている。上の人にもすぐ相談でき、恵まれた環境である。
- ・ 支援員が高齢化し、新しい人がなかなか来てくれないのが悩み。人員配置に苦労している。
- ・ コロナ前は、年に2回、1時間ほど学校の先生と話し合いの場を作っていた。お互いの話を聞き、問題を解決していた。今年度はなくなったのがとても残念。

【委員】

- ・ 人員確保に関して、リタイアされた教員等に声をかけるのが有効ではないか。教育に熱意のある大学生に声をかけるのも良いのではないか。
- ・ 子どもは、勉強が分かるようになると落ち着いてくる。勉強を見てあげられる資質のある人を推進員として採用することが大事だと思う。

【委員】

- ・ 将来的に効果の検証を求められたら、この活動にはどのような効果があるのかどうか考えながら活動している。
- ・ 子どもがのびのびできる場所が大事と考える。問題があれば、学校・地域・家庭、総合的に連携してフォローできるとよい。

### 【委員】

- ・「子どもは、勉強が分かるようになると落ち着いてくる。」のいうのは納得。ただ現状、支援員が少なく、勉強を見ることができていない。支援員が増えれば解決するかも。人が集まる職場になることを望む。

### 小学校からの意見・要望・感想

#### 【委員】

- ・学校としては、特別な場を設けなくても、小さなことでも何でも言ってきて欲しい。

#### 【委員】

- ・学校側としては、子どもにとって放課後の安心できる場所を作ってください、たいへんありがたく思っている。子どもたちは、楽しみにしており、地域の先生に育ててもらっているありがたみをひしひしと感じる。地域の先生と行政と学校が連携してやっていくのが何よりも大事なことだと思う。
- ・どの方からも、子どもたちのために何かしたいという熱い思いを感じる。この思いがうまく重なっていけば、子どもたちがすこやかに育っていくのではないかと思う。
- ・人的なことは悩みどころではあるが、放課後の活動の目的・趣旨に賛同し、協力していただける人が増えていけばいいなと思う。

#### 【委員】

- ・先生がいないところで子どもを見るのがとても大変なことはよく分かるが、実際に子どもたちは放課後をすごく楽しみにしているので、地域の先生方にはたいへん感謝している。
- ・今日この場で現場のことを耳にし、勉強させていただいた。行政にも頑張っていたいただき、この活動が継続されることを願っている。

### 行政側からの意見・要望・感想

#### 【委員】

- ・マンパワー不足が大きな課題と痛切に感じた。地域の中で子どもたちのために協力いただける方をどのように確保するかが問題。「地域で子どもたちを育てる（＝地域学校協働活動推進事業）」の重要性を改めて認識した。
- ・子どもたちが安心できる居場所はとても大事。みなさんには大変なご苦勞を掛けているが、環境を構築し、継続していくことが大切なので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

#### 【委員】

- ・皆様にはいつもご協力いただき感謝申し上げます。コロナ禍で制約があり、子どもたちも精神的に厳しいと思われる状況の中、地域をあげた居場所づくりにご尽力いただき、ありがたく思う。今後とも、ご協力をお願いしたい。

(午前10時00分開始、11時00分終了)